

VI. 準動詞

1. 準動詞は主語によって形を変えない

述語動詞は主語の数・人称によって三人称単数の **s** が付いたりしますが、準動詞は（意味上の）主語によって形を変えず、**名詞・形容詞・副詞**の働きをします。準動詞には、**不定詞・分詞・動名詞**があります。

準動詞は動詞としての性質を持つので、意味上の目的語や補語を持つことがありますし、意味上の主語が明示される場合もあります。そのような複雑な文構造を明解に示す（「見える化」する）のに記号が有効です。

- 準動詞を右半丸で囲み、他動詞の場合は右端に「>」を付ける
- 意味上の目的語に下線を引く
- 準動詞の意味上の主語・目的語・補語を記す場合は「(s), (o), (c)」とする
- 分詞や動名詞が名詞の前から修飾するときは、単独の形容詞による修飾と同じ形であり、意味上の目的語などをとることがないので右半丸で囲まない

準動詞を正しく理解するのに
記号が極めて有効です



2. 不定詞は名詞・形容詞・副詞および第5文型の補語として働く

不定詞といえば、通常は「to + 原形動詞」の形の **to 不定詞** ですが、**to** が付かない**原形不定詞**もあります。**to 不定詞**には様々な用法があり、そのすべてをここで示すことはできませんが、英文を英語として読む習慣ができていれば、難しい例に出くわした時でも文脈で意味を推察し、辞書・文法書でそれを確認することもできるでしょう。

1) to 不定詞の用法

「スマホと夜更かし」 文脈開始

□ 名詞的用法

I like (to use) my smartphone at night).
(o)

私は好みます 夜中にスマートフォンを使うことを

↓形式主語（仮主語） to 不定詞が真主語

□

It is difficult for me (to wake) up early).
難しいです 私にとって 朝早く起きることは



□ 形容詞的用法

I have no alarm clock [to wake] me up]A.
(s) (v) (o)

持っていません 目覚まし時計を 私を目覚めさせるための

↓意味上の主語を導く記号化した for

□

There are so many things [for me to <<enjoy>> at night]A.
V S (s) (v)

とても多くのことがあります 私が 楽しむ 夜に

文脈終わり

副詞的用法

「むなしい男」 文脈開始

- 目的 He went to the town [to see a woman].
彼はその町に行きました ある女に会うために
- 結果 He went there [only to be killed].
彼はそこに行きました ただ殺されただけでした
- 原因・理由 I was shocked [to hear that].
私は驚きました それを聞いて
他動詞 accept の他動性で fact にかかっている
- 程度 This fact was too hard for his father [to accept].
S(o) (v)
この事実は厳し過ぎました 彼の父親にとって 受け入れるのは

第5文型の補語となる用法（「動詞としての用法」ともいう）

OとCが主述関係

- He had asked his son to come back alive^a.
S V O(s) C(v)
彼は(息子が行く前に)
頼んでいました 息子に 生きて戻るように



文脈終わり

2) 原形不定詞の用法（すべて「動詞としての用法」）

助動詞＋原形不定詞 will, shall, can, may, must, need, dare などの後で

第5文型の補語となる用法

- 知覚動詞とともに (see, hear など) OとCが主述関係 「教室で」 文脈開始
I saw a student go out of the classroom.
S V O(s) C(v)
私は見ました 一人の学生が 教室から出るのを
- 使役動詞とともに (make, let, have など) OとCが主述関係
The teacher made her return to her seat.
S V O(s) C(v)
先生は 彼女に (強制的に) 席に戻らせました
- He let her go [as she only wanted to wash hands].
S V O(s) C(v)
彼は彼女を行かせました
彼女はトイレに行きたかったただけだったので

文脈終わり

3. 分詞は形容詞の性質をもつ

分詞には現在分詞と過去分詞があり、動詞と形容詞の性質を合わせもっています。動詞用法では、現在分詞は進行形、過去分詞は完了形・受動態を作ります。形容詞用法の分詞は名詞を修飾したり補語になったりします。ここでは形容詞用法について整理します。

1) 現在分詞

<動詞の原形+ing>の形をとります。他動詞からつくられた**現在分詞**は、名詞を修飾するとき「～させる」という**能動的**な意味を表します。自動詞から作られた場合は「～する」という意味になります。

「留学生たちとの魚釣り」 **文脈開始**

- **名詞**を前から修飾

名詞の分類的特徴を表します。

分詞が名詞の前の場合は半丸で囲まない

Those students are from **developing** countries.

あの学生たちは 開発途上**国**からです

名詞を後ろから修飾（後置修飾）

名詞の一時的な状態を表します。分詞に副詞句や意味上の目的語などが付いて**分詞句**になると必ず名詞の後に置かれます。この**後置修飾**は、関係詞節に書き換えることができます。

- The student [**sitting** [on the bench]]^A is from America.

The student [who is sitting [on the bench]]^A is from America.

学生は ベンチに座っている アメリカからです

- All of them are the students [**studying** agriculture]^A.

All of them are the students [who are studying agriculture]^A.

彼らは皆 **学生**です 農学を学んでいる

第5文型の**補語**となる用法（知覚動詞などとともに）

○とCが主述関係

- I often see them **talking** in English.

S V O(s) are C(v)

私はしばしば見ます 彼らが英語で話しているのを

- **完全自動詞+分詞** With them, I went **fishing** in Kinkowan Bay last Sunday.

このような現在分詞を**準補語**という

S V (C)

彼らと 私は 錦江湾での釣りに行きました この前の日曜日

2) 過去分詞

<動詞の原形+ed>の形をとる**規則動詞**と、write → written のように変化する**不規則動詞**があります。他動詞からつくられた過去分詞は、名詞を修飾すると「～された」という**受動的**な意味を表します。

名詞を前から修飾

名詞の分類的(恒常的)特徴を表します。

- I only had a **broken** fishing rod.

私は持っていただけでした 折れた**釣竿**を

- I bought a **used** rod at a second-hand shop.

私は買いました 中古の**竿**を リサイクルショップで



名詞を後ろから修飾（後置修飾）

名詞の一時的な状態を表します。分詞に副詞句や意味上の補語などが付いて分詞句になると必ず名詞の後に置かれます。この後置修飾は、関係詞節に書き換えることができます。

名詞の一時的な状態を表す場合は、単独でも後置修飾となる

- I was told that a rod [used]^A should be washed.
I was told that a rod [which has been used]^A should be washed.
私は言われました 竿は 使われた 洗わないといけないと
(竿を使ったら洗わないといけないと)
- In Kinkowan Bay, we could enjoy the majesty of the mountain [called Sakurajima]^A.
(c)
In Kinkowan Bay, we could enjoy the majesty of the mountain [which is called Sakurajima]^A.
錦江湾では 私たちは偉容を楽しむことができました
山の 桜島と呼ばれる

第5文型の補語となる用法（知覚動詞などとともに）

- On the small boat, I felt my body shaken hard, when
S V O(s) was C(v)
I saw a big ship passing by.
S V O(s) was C(v)
小さなボートの上で 私は体が強く揺さぶられるのを感じました
その時私は大きな船がそばを通っているのを見ました

● 分詞から形容詞なってしまったと考えられるものもあります。

↓右肩の a で形容詞であることを示す

- It was a thrilling^a experience.
それは スリル満点の経験でした
- I think I looked very surprised^a.
私は思います 私がとても驚いたように見えただろうと

3) 分詞構文

分詞を使って副詞節を短縮する語法で、時、原因・理由、条件、付帯状況などを表しますが、接続詞を使った文より意味があいまいで、文脈から想像力を働かせる必要があります。想像を促す表現であるとも言えます。

- 時 [Standing on the boat], I saw a variety of ships pass by.
ボートの上に立っている時 私は様々な船が通り過ぎるのを見ました
- 付帯状況 [Keeping the rod in my hands], I tried to feel a nibble on my line.
竿を手に保持しながら 私は釣り糸上の魚信を感じるよう努めました
↓ being は普通省略される
- 原因・理由 [Tired out after long fishing], I went to bed early.
長い釣りで疲れてしまって 私は早く床につきました

文脈終わり

4. 動名詞は名詞として働くが動詞の性質をもっている

動名詞は、形は現在分詞と同じく動詞の原形+ing>ですが、「～すること」という名詞的意味になります。名詞と同様に主語・目的語・補語になりますが、動詞の性質をもっている準動詞なので意味上の目的語・補語をとることができます。

- (Speaking English well) requires a lot of practice.
 S (v) (o) V O
 英語を上手に話すことは 必要とします たくさんの練習を

- My hobby is (collecting stamps).
 S = C (v) (o)
 私の趣味は 切手を集めることです。

話し言葉では him となり, becoming が現在分詞で第5文型となる

- I couldn't imagine (his/him becoming) a professional golf player
 S V O (s)₁₊₂ (v) (c)₁
 [before (growing old)].
 (v) (c)₂
 私は想像できませんでした 彼が プロゴルファーになることを
 大人になる(こと)の前に

- My cat is good [at (catching cockroaches)].
 S = C (v) (o)
 私の猫は 上手です ゴキブリを捕まえることが

- 名詞の前に置かれた動名詞（この場合は、正しくは「動作名詞」）は、名詞の用途・目的を表します。

a smoking room (喫煙室) = a room (used) for smoking
 a sleeping bag (寝袋), a sleeping car (寝台車),
 drinking water (飲み水), a walking stick (ステッキ)

a walking dictionary (歩いている辞書すなわち「生き字引」) の walking は現在分詞です。

- 動名詞から名詞になってしまったと考えられるものもあります。

スポーツ名など、動作の意味が残っているもの：
 swimming, boxing, hiking, fishing など

動作の意味がほとんどなくなったもの：

building (建物), meaning (意味), happening (出来事),
 saying (ことわざ), beginning (起源, 冒頭) など

5. 不定詞句, 分詞句, 動名詞句の記号づけ

不定詞句, 分詞句, 動名詞句 (不定詞節, 分詞節, 動名詞節ともいう) は, 意味上の主語が明記されているいにかかわらず, 意味の上では主語が存在しており, 節 (clause) に準ずるものと考えられます。節と同様に, 副詞的なものは [] , 形容詞的なものは []^A, 名詞的なものは () で囲みます。

He went to the town [to see the woman at her office].

S(s) V (v) (o)
彼はその町に行きました その女に事務所で会うために

I like (to use my smartphone in my bed at night).

S(s)V (v) (o)
私は好む 夜中にベッドでスマートフォンを使うことを

There are so many things [for me to enjoy at night]^A.

V S (s) (v)
とても多くのことがある 私が楽しむ 夜に

All of them are the students [studying agriculture in college]^A.

S V C (v) (o)
彼らは皆 学生です 大学で農学を学んでいる

This is the area [named Tenmonkan in the Edo period]^A.

S V C (=) (c)
ここは 地区です 江戸時代に天文館と名付けられた

○ は動名詞句全体

I couldn't imagine (his becoming a professional golf player)

S V O(s) (v) (c)
私は想像できなかった 彼が プロゴルファーになることを